

外部委員の評価結果

施策目標	(3) 多様な産業の展開	総括担当課	にぎわい創出課
方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業等の育成、斬新な発想力で新たな製品加工や商品づくりを目指す起業・創業者等の人材育成により地域資源を生かしたブランド化が進む活力あるまちを目指します。 ・ 伝統工芸を継承する人材を育成し、生業として成り立たせることにより四万十町らしい産業のあるまちを目指します。 		

■ 評価結果

以下の①～③の項目について評価を実施しました。（当日出席委員：14名）

評価項目	評価結果		評価の理由等
①施策を構成する事業内容の妥当性	a評価	10名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての事業が、多様な産業の発展を支援するもので、その妥当性を評価できる。 ・ 四万十町の地域産品を幅広く情報発信し、販路開拓や商品の磨き上げに繋がるツールとして、効果的な事業となっている。 ・ 町産品に特化して行政が情報や事業所をとりまとめることは妥当と考える。 ・ 方針にある「伝統工芸を継承する人材を育成し」にどの事業の何が具体的に当たるのか少し見えませんが、いずれも大事な事業で妥当だと考えます。 ・ 地産外商の妥当性はあると思う。 ・ 生産者と連携し事業によく取り組んでいる。 ・ ふるさと納税の寄附額が安定しており、成果を感じる。 ・ 四万十町のブランドイメージアップの取組ができていると思う。
	b評価	4名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 寄附金を活用した各種事業が地場産業の振興につながっており、成果があがっている一方で課題が認められた事業もある為。 ・ ふるさと納税への寄附者が118,000人（件）に及ぶ事は、当町への魅力を感じている人が多い。当事業内容はピン트가合っていると評価できる。
	c評価	0名	—

②施策を構成する事業 全体の実績及び成果	a評価	3名	<ul style="list-style-type: none"> ・認知度が上がり、販売によく繋がっている。 ・コロナ禍の中でも工夫して情報発信ができています。
	b評価	11名	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍においても商談会や四万十フェアなどの開催により、今後の取引継続に繋がっている。ネット販売推進協議会によるネット販売が運用途中で休止になる事態となり、課題が残った為。 ・情報発信とネット販売の成果が伸び悩んでおり、全体としては概ね評価できるとどまった。 ・費用対効果として十分に成果が上がっているものとそうでないものがある。 ・WEBサイトの休止により、事業が一部停滞したと考えられるため。ただ、ふるさと納税の額は増加の傾向にあり、地域資源を生かしたブランド化に繋がっていると思う。 ・全体として評価を考える場合、「ネット販売展開事業」の実績も考慮し、この評価が妥当だと考えます。 ・ふるさと納税の返礼品も多様な商品がラインアップされており、好成績を上げている。ネット販売ならびに地域情報発信については、ノウハウを必要とする事から結果的に休止となっているものの必要性は高い。 ・四万十ヒノキのロゴマークの認知度があまり高まっていないことから、PR不足ではと思う。
	c評価	0名	—
③施策目標の指標の達成度	a評価	4名	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の目標を達成しており評価できる。 ・達成度は目標値を大きく上回っている。
	b評価	10名	<ul style="list-style-type: none"> ・生産者等との連携や地域産品の魅力を発信する施策を地道に行っており、概ね評価できる。 ・ネット販売が休止となっているため。 ・リバーノートのメルマガ会員がわずか38名で更新も休止中であるのが残念。魅力的な情報発信となる工夫が必要。 ・今の取組を継続し、あらゆる層へ働きかけができればと思う。
	c評価	0名	—

※a評価・・・評価できる b評価・・・おおむね評価できる c評価・・・評価できない

総合評価	A 評価	1名
	B 評価	4名
	C 評価	9名
	D 評価	0名
	E 評価	0名

(総合評価について)

上記の3項目の評価内容に応じて、以下のとおり機械的に総合評価を判定しました。

A 評価・・・全てa B 評価・・・aab、aac C 評価・・・全てb、bba、abc D 評価・・・bbc、cca

E 評価・・・全てc

その他自由意見

- ・ネットによる販売の需要は拡大傾向にあり、官民共同のネット販売事業は有効である。そのため、町内事業所への支援策や連携策などを丁寧に分かり易い説明を実施し、意思疎通をしっかりと図ることが大切である。
- ・総合振興計画にある伝統工芸の事業が近年実施されていないのが残念である。方針どおり取り組むことが大切であると思うし、伝統にとらわれず物づくりに対する支援策を検討実施することも必要である。
- ・情報発信とネット販売はねばり強く取り組んでいただきたい。
- ・「四万十町特産品及び地域情報発信事業」及び「四万十町ネット販売展開事業」については、ノウハウのある専門家の活用や事業者の魅力的なHP改修への支援など、事業内容の改善変更も含め、より良い事業に進化されることを期待します。
- ・外貨を得るうえでは力を入れるべき事業である。
- ・ネット販売の再開に向けてがんばってほしい。
- ・四万十町の山野には葉っぱ（料理に添えている）、南天や松などの商品価値のあるものもあると思うので、徳島県のように都会に出荷しても面白いと思う。高齢者が多いので、高齢者も働いて生きがいのある産業を創出する四万十町を目指したい。
- ・ふるさと納税の返礼品の中に、四万十ヒノキを使った商品を増やすといいのでは。（学習机や花壇のレイズドベッドなど人気商品になるのでは）朝ドラで牧野博士が取り上げられるので家庭菜園やガーデニングブームが再燃すると思います。
- ・建築家隈研吾に四万十ヒノキを使ってもらう様なアプローチもあるのでは。